

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

棚田の復元と棚田オーナー制による地域の活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	静岡県賀茂郡松崎町 石部			
協定面積 9.9ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻			
交付金額 208万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	共同活動に係る経費、会議費		100%
協定参加者	農業者 4人			

2. 取組に至る経緯

当集落では、長年、耕作放棄されてきた棚田を将来に残すべき貴重な地域資源としてとらえ、棚田の復元と保全に取り組んだことにより、集落協定締結に至った。

3. 取組の内容

棚田を単なる生産の場としてとらえるのではなく、棚田オーナー制を募集した。都市住民との交流を図り、グリーンツーリズム・エコツーリズムの拠点として地域の活性化に取り組んでいる。

また、一社一村しずおか運動にも積極的に取り組み、大学・企業との協働により保全活動を行っている。



【収穫祭】

子どもたちの笑い声が聞こえる
稲刈り体験の様子



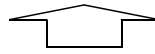
【一社一村しずおか運動】

大学・企業との協働による
棚田の保全活動の様子

[集落の将来像]

農業生産活動はもとより都市住民との交流活動を推進し、石部の集落が多面的機能増進活動を継続的に実施できる体制を整備します。

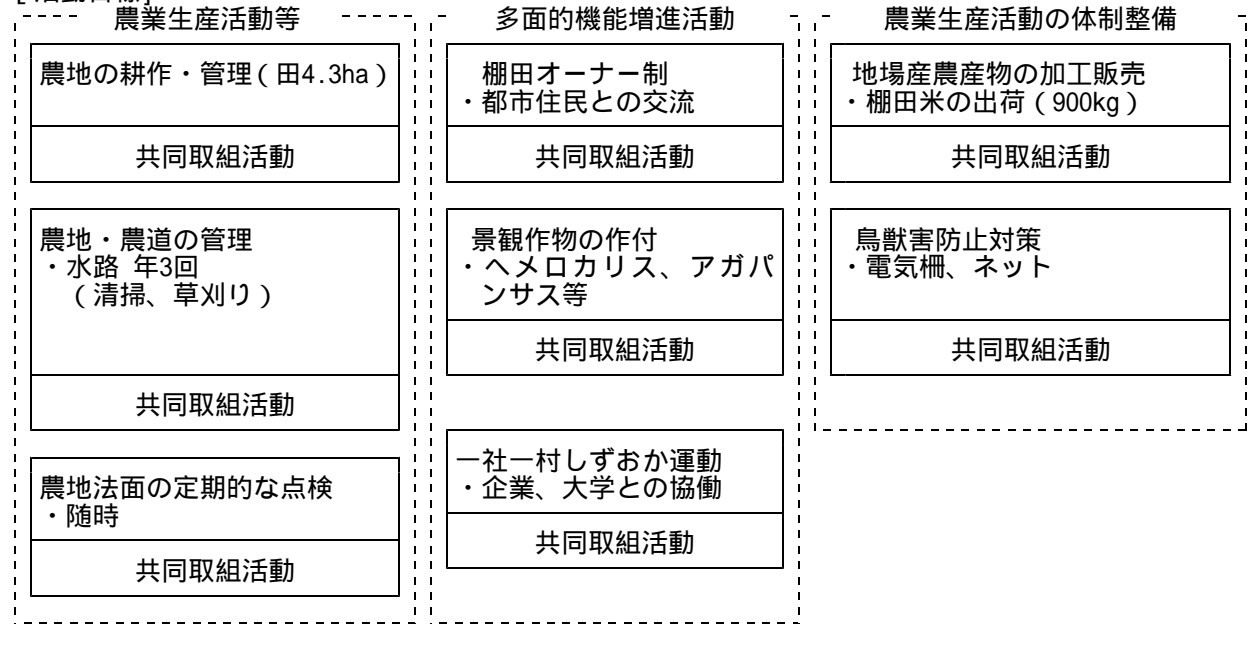
「子供も老人も石部の人も都会の人も、みんな笑顔で」という「石部赤根田村百笑の里」でありたいと願っています。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・ 都市住民との交流活動として棚田オーナー制度を実施する水田面積を2haとします。
- ・ 認定農業者への利用権設定による協定農用地集積化の割合を協定農地の33%以上とします。

[活動目標]



集落外との連携

「一社一村運動」に積極的に取り組み、大学・企業との協働により棚田の保全活動を行っている。

4. 取組による変化と今後の課題等

棚田で収穫された黒米等を使って、パン・うどん・焼酎等の特産品開発を行い、地元のみならず県外でも販売される等、棚田及び松崎町のPRが図られている。

農業従事者の高齢化、後継者不足により地区住民による活動だけで現状以上に耕作をするのには限界がある。このため、今後はいかに担い手を育成・確保するかが課題となっている。

[平成20年度までの主な成果]

都市農村交流による地域の活性化

- ・ 棚田オーナー制による交流人口の増(当初 300人、目標 1,000人、H20実績 800人)

農産物加工販売

- ・ 棚田米の出荷(当初 - kg、目標 900Kg、H20実績 950kg)

棚田の保全

- ・ 一社一村しずおか運動による企業、大学等との協働(当初作業面積 0.5ha、目標 3ha、H20実績 1ha)